

南京玉すだれクラブ

宿泊研修会(27.11.20~21)報告

南京玉すだれクラブが発足し1年半、平成27年11月20日(金)~21日(土)にかけ初めて宿泊研修を寄居簡保センターで行いました。参加メンバーは日本国内で数人しかいない貴重な「南京玉すだれ」の製作者で、ご自分でも秩父市を中心に活動している山本博巳先生を講師しお招きし、以前から交流している茨城県古河市のボランティアグループ「古河おシャベリ演芸クラブ」6人と一緒に総勢12名の合同研修会です。

午後3時に宿泊先の寄居簡保に勢ぞろいし、玄関先で自己紹介した後、各部屋に荷物を下ろし早速一室に集まり、山本先生を前に各々のグループが普段演じている演技を披露し、指導して戴きました。その後我々が持っていない「玉すだれ」を使った数々の演技を教授して戴き、これから我々の持ち駒に取り入れようと以前からお願いしていた曲に合わせて舞う「東京音頭」を手とり足とり夢中になって教えて戴き、気がつく夕食の時間になってしまい、結局夕食前に誰一人温泉に入らず宴会の時間になる程、熱の入った研修でした。

お酒の入った宴会は大いに盛り上がり、その席では古河グループが持ち込んできた手造り和紙で作った波平のカツラを全員がかぶり、高齢者施設のディーサーブの方と一緒に演じ人気のある「サザエさん」「憧れのハワイ航路」をその場に居合わせた仲居さんも交えて全員でおどり、時間の経つのも忘れ楽しい時間を過ごしました。

翌日(11/21)は山本先生は帰宅され、我々残った11名で深谷に戻り、メンバーの栗原政春さんの案内で、渋澤栄一記念館、栄一生誕の「中の家」を見学、昼食には深谷名物「煮ごうとう」を和気あいあいの雰囲気でお楽しみしました。

その後世界遺産になった境島の田島弥平旧宅を周り、明戸農産物直売所、荻野吟子記念館を案内しました。特に渋澤栄一関連の記念館、「中の家」は感動した様子で、後日古河の他の仲間を連れて再度訪問したいと言っていました。最後に利根大堰の「鮭の遡上」場を案内し、遡上の様子を目の前で見られ大感激していました。ここまで来れば古河市まであと一歩、お互いに再会を約束し2日間の合同研修会が終わりました。

普段自分の力量の範囲で活動していますが、他の活動グループとの合同研修を行い、我々が持っていない演技や今後活かせる演技等の発見があり、それらを取り入れ施設への訪問に役立てていきたいと強く感じ入った研修でした。



